



## 耳を痛がる

次の症状は見られますか？

- 我慢できない激しい耳痛。
- 激しい頭痛を伴う耳痛。
- 繰り返し吐く。
- 耳の後ろが腫れて、耳介が前方に起き上がっている。

症状が見られたものを  
「はい」とした場合…

「はい」が

1つ以上

なし

休日夜間急患診療所を  
受診しましょう。

様子を見ながら、翌日、  
かかりつけ医を受診しましょう。

診療時間外の場合

症状が急変した場合

救急電話相談ダイヤルに相談しましょう。

名 称：とっとり子ども救急ダイヤル

電話番号：#8000 (ダイヤル回線・IP電話の場合は0857-26-8990)

相談受付時間：24時間365日



## 観察のポイント

- 子どもが突然、耳を痛がる時は多くの場合、「急性中耳炎」で、耳漏（耳だれ）が出ることもあります。過度に心配する必要はありません。
- 小さなお子さんは耳が痛いとはなかなか言葉で説明できないので、耳を抑えたり、耳を触られるのを嫌がったりすることでサインを出します。
- また、耳穴（外耳道）に異物（豆、小玩具、昆虫等）が入って痛がることもありますので、耳が痛そうなときには耳穴を見てみてください。



## ホームケアのポイント

- 大抵の場合、数時間を経れば自然に治まるので、泣いて痛がるようなときには耳のまわりを冷たいタオルや冷却シートで冷やしたり、痛み止め（鎮痛解熱剤の座薬や頓服）で様子を見ても構いません。
- 様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診しましょう。



## お医者さんに伝えてほしいこと

- 「いつから」耳を痛がっているか。
- 他の症状はあるか。  
（例：発熱、吐く、下痢 など）
- 機嫌はどうか。